

「滝の沢」地域を「市民の森」に さまざまな意見を聞き 検討する



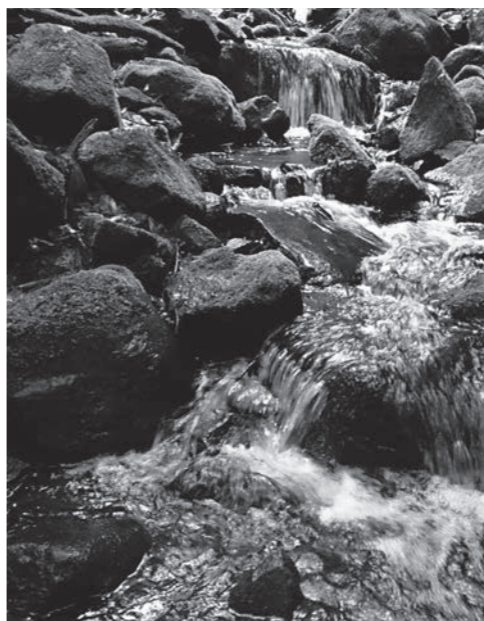
柳村 一議員

問 村名の由来となった「滝の沢」は、村のほぼ中央に位置し、周辺地域にはさまざまな資源があります。

市制移行後に「市民の森」として市民が自然を満喫できる場所にふさわしいと思うが、整備の考えは。

答 「滝の沢」は、自然豊かな溪流の一角です。周辺には「角掛神社」や「村埋蔵文化財センター」などがあり、滝沢の歴史の一端を目に見える形で残している地域です。

しかし、地形は急峻な山地で、軽い散策用道路でも整備困難で、当面は自然の状態を保全したいと考えます。今後、この地域の歴



史文化をどのように残し活用するかは、さまざまな意見を聞き検討します。

問 住民自治日本一のわかりやすい説明は。

答 住民自治とは、住みよい地域をつくるた

めに住民自らが地域を想い、その想いを行動に移すことで地域を地域の皆でつくることだと考えます。

住民自治が滝沢全体のいたるところで活発に行われれば、非常に大きな力、誇りとなり「満足」と「幸福感」を日本一実感できる自治体になると考えます。

今後も村政懇談会や各種団体とのグループインタビューを実施して、住民自治日本一の理解と浸透を図っていきます。

適正な職員評価と 時間外手当の削減は 削減に向け 努力します



一新会
工藤 勝則議員

問 職員の能力や実績をどのように評価し、職員人事制度に結びつけていくのか。

削減については今後努力します。

答 各層に応じて求められる能力・業績を的確に見極めるように改善をはかり、勤務意欲をより高め、勤務評価に反映できるように改善します。

問 職員の時間外手当の実態と削減への考えは。

答 時間外手当の総額は、9711万円、個人の月額最高額は、35万円、年額最高額は、248万円です。また一番多い年間時間外勤務総時間数は

918時間です。

問 庁舎周辺の都市開発と鶴飼地区の下水道整備促進について

答 庁舎周辺は、滝沢の核として中心商業拠点、業務機能の中核を担う業務拠点になるよう努力します。

鶴飼地区の公共下水道と合併処理浄化槽との年間差額を調査し、補助にむけ努力します。



問 子宮頸がんワクチンの副作用が報告されて以来、不安の声が聞かれます。

①これまでの接種状況と、副作用の有無は。
②これからの子宮頸がんワクチン接種と、接種を終えた方に対する対応は。

答 ①これまでの接種率は84・8%です。村では、副作用の報告はありません。
②接種希望者には十分説明すると共に、接種を終えた方にも適切に対応してまいります。

査の方法とその対応は。
②これからの村の教育のあり方は。

答 ①各学校が児童生徒及び保護者に対してアンケート調査し、該当事案があった場合、学校長が個別に調査し報告しました。
②子供たちが生き生きと学校生活を送るためには、正しいことが正しいと堂々と言える正義が通る学校づくりが大切と考えています。

は。
②輸出入と共に村の特産品を売り込む予定は。

答 ①輸出入の評価は高く、これからも関係団体と連携し取り組みます。
②ブランド力の高い商品化の開発、研究を支援し、情報収集に努めます。

問 小中学校での体罰は、2件あったと報告がありました。

問 村内で生産された輸出入は、海外に広く輸出されています。



子宮頸がんワクチンの接種率と副作用は
接種率は84・8%で
副作用の報告はなし



しののめ会
武田 哲議員

ズバリ③

私は現在小岩井地区で実習をさせていただいております。8月27日に行われた「いきいきクラブ」で、8月9日の大雨のときの状況について小岩井地区の方に伺いました。越前堰に監視カメラは設置されているものの、それがどのように活躍しているのか知らない住民が多く、「意味がない」という方も居たので、再度検討していただきたいです。また、私が家庭訪問している方は、元気館でトレーニングをしたいが行きにくいので、移動手段がないと言っていました。移動手段のない高齢者にとっては村の役場も遠いものになってしまっているので、市制移行に当たっては高齢者の移動手段についても考えていただきたいです。

議会にズバリ一言!!

傍聴に来ていただいた皆さんからお寄せいただいた感想をご紹介します!!

ズバリ①

夏休みに「うかいっこ学童」へ行くことがあり、広くない部屋に70人から80人、指導員の方3人、特に休暇時には、エネルギーいっぱいの子どもと格闘状態とのこと(父母とともに)専門の方をきちんと配置してほしいと思いました。そのためにも委託料の増額方向を長い眼でみて要望したいと思いました。広さの確保はもちろんのことです。議員の質問はよく分りました。

ズバリ②

子宮頸がんのワクチンについて親御さんから不安の声があるとのことでしたが、その声がストリートに議会に取り上げられているように感じませんでした。ワクチンの接種、副作用についての対策等がとられているとのことでしたが、責任感が感じられませんでした。国や市が推奨しているワクチンであれば、住民の心境としては接種したいと思うのが自然だと思います。結果、予測していなかったことが起こったのであれば最大限対策をとるべきだと思います。当たり前のようにホームページに載せるなどではなく、自分自身被害にあったときのような対応があれば安心できるか考えてほしいです。今日は傍聴をさせていただき大変いい経験をしました。